



サンタ・フェ／京都シンポジウム・特別レクチャー

過去の文明・今日の文化の課題 マヤ文明とモンゴルを例として

日時：2012年10月20日(土曜日)13:00-19:00

会場：京都大学総合博物館・講演室とロビー



プログラム

- 13:00-13:10 大野照文、総合博物館館長
開会挨拶
- 13:10-14:30 ジェリー・サバロフ、サンタ・フェ研究所所長
「マヤ文明の衰退から何を学ぶか」
- 14:30-15:10 青山和夫 茨城大学教授
「マヤ文明の起源を求めて：セイバル遺跡の再調査」
- 15:10-15:25 コーヒー・ブレイク
- 15:25-16:45 ポーラ・サバロフ、サンタ・フェ研究所教授
「モンゴルにおける封建主義から民主主義」
- 16:45-17:15 加藤美典
モンゴルの伝統楽器 馬頭琴の演奏
- 17:15-19:00 懇親会・ふるってご参加下さい(参加費1,500円当日徴収)



主催：統合複雑系科学国際研究ユニット・京都大学総合博物館・平成24年度統合地球環境研究所インキュベーション研究(IS)グローバルイノベーションを終わらせる「新時代の生き方作法」リテラシーの構築—新京都(みやこ)モデルの提案—チーム

後援：京都大学経済研究所

申し込み不要：当日先着80名まで参加して頂けます。(講演の一部は英語ですが、日本語の逐語訳があります)

問い合わせ先：京都大学総合博物館・事務室075-753-3272